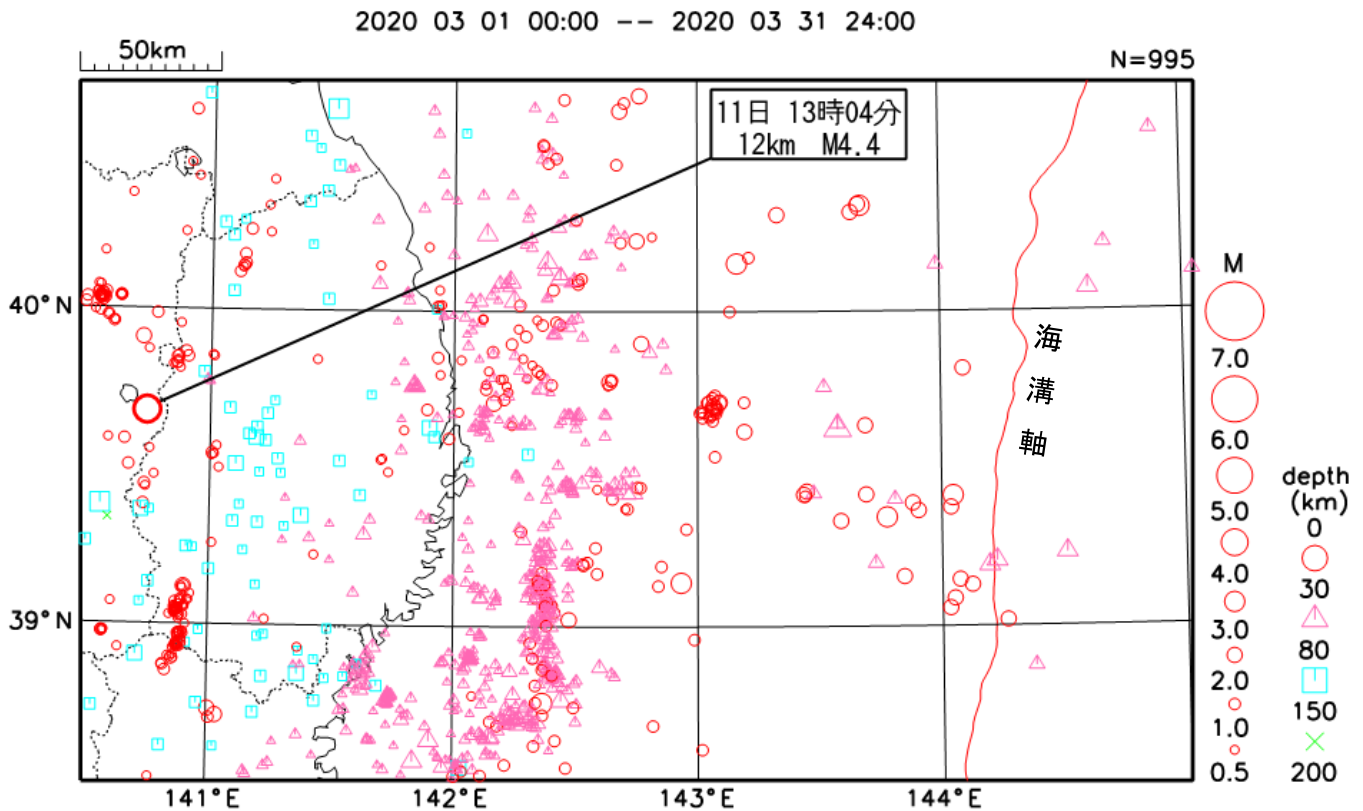


岩手県月間地震概況

2020（令和2）年3月

盛岡地方気象台

震央分布図



※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

【概況】

今期間、図の範囲内で観測した地震は995回（先月935回）、岩手県内で震度1以上を観測した地震は11回（先月13回）であった。

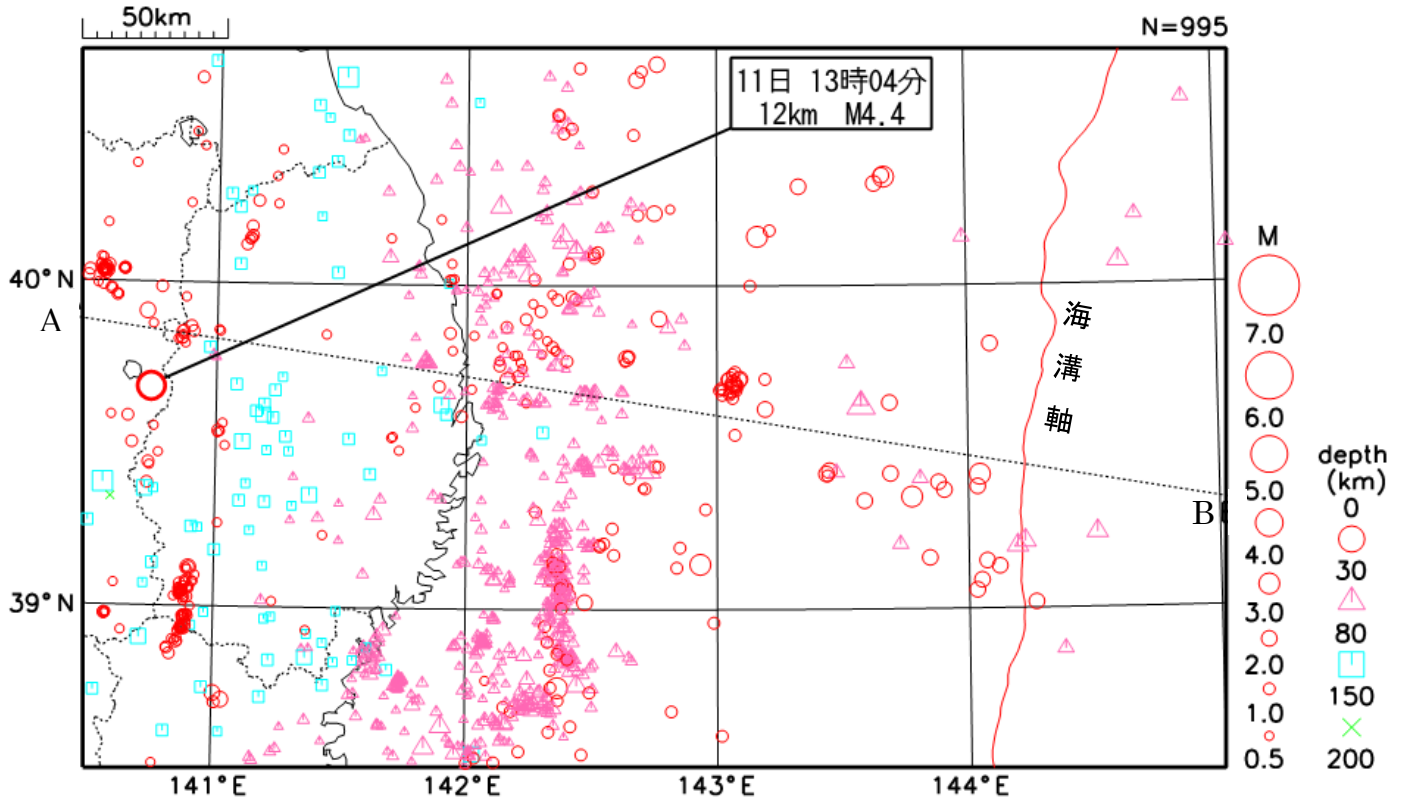
11日13時04分に秋田県内陸南部の深さ12kmでM4.4の地震が発生し、秋田県で最大震度4を観測した。県内では、八幡平市、矢巾町、西和賀町などで震度2を観測するなど、内陸を中心に震度2～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

28日09時57分に浦河沖（図の範囲外）の深さ70kmでM5.0の地震が発生し、北海道、青森県で最大震度3を観測した。県内では、盛岡市で最大震度2を観測したほか、県の北部を中心に震度1を観測した。

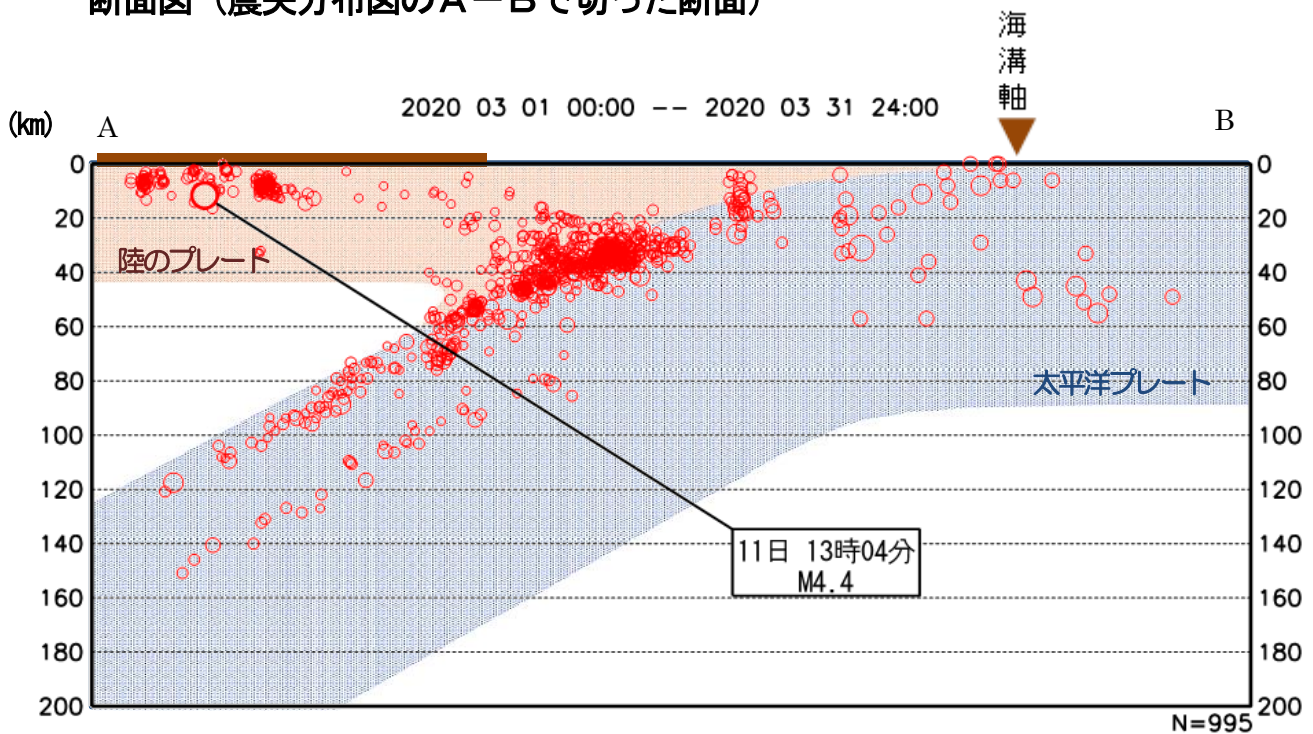
【注】各地の震度の詳細については、「岩手県で震度1以上を観測した地震」の表を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

震央分布図

2020 03 01 00:00 -- 2020 03 31 24:00



断面図（震央分布図のA-Bで切った断面）



※陸地から遠く離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ（深さ10~30km）のものが多いと考えられる。

※ は陸地の大きな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大きな位置を示している。

岩手県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2020年3月1日～2020年3月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2020年03月02日09時47分	三陸沖	39° 37.6' N	143° 34.5' E	31km	M4.8
岩手県	震度 1 : 宮古市田老* 山田町大沢* 盛岡市薮川*				
2020年03月04日04時55分	宮城県沖	38° 34.2' N	141° 50.3' E	57km	M3.6
岩手県	震度 1 : 住田町世田米* 一関市大東町 一関市千厩町* 一関市室根町*				
2020年03月07日00時26分	岩手県沖	40° 09.4' N	142° 22.9' E	37km	M3.8
岩手県	震度 1 : 宮古市川井*				
2020年03月10日09時13分	宮城県沖	38° 19.8' N	142° 07.9' E	37km	M4.1
岩手県	震度 1 : 大船渡市猪川町 釜石市只越町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市室根町*				
2020年03月11日13時04分	秋田県内陸南部	39° 40.6' N	140° 44.3' E	12km	M4.4
岩手県	震度 2 : 雫石町千刈田 雫石町西根上駒木野 八幡平市田頭* 矢巾町南矢幅* 滝沢市鶴飼* 西和賀町沢内川舟* 震度 1 : 盛岡市山王町 盛岡市馬場町* 盛岡市薮川* 盛岡市渋民* 八幡平市大更				
2020年03月11日14時03分	宮城県沖	38° 18.6' N	141° 55.6' E	43km	M4.0
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町 釜石市中妻町* 住田町世田米* 一関市大東町 一関市花泉町* 一関市千厩町* 一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町* 平泉町平泉* 奥州市前沢* 奥州市胆沢* 奥州市衣川*				
2020年03月12日20時07分	宮城県沖	38° 20.6' N	141° 51.5' E	46km	M3.7
岩手県	震度 1 : 一関市千厩町* 一関市室根町*				
2020年03月24日20時13分	岩手県沖	40° 01.9' N	142° 14.7' E	41km	M3.8
岩手県	震度 1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市田老* 岩泉町岩泉* 田野畑村田野畑 田野畑村役場* 普代村銅屋* 葛巻町葛巻元木 軽米町軽米* 九戸村伊保内*				
2020年03月25日11時49分	北西太平洋	48° 59.1' N	157° 41.5' E	57km	M7.5
岩手県	震度 1 : 盛岡市薮川*				
2020年03月28日09時57分	浦河沖	41° 55.3' N	142° 21.2' E	70km	M5.0
岩手県	震度 2 : 盛岡市薮川* 震度 1 : 宮古市田老* 久慈市枝成沢 岩手洋野町種市 盛岡市山王町 二戸市浄法寺町* 八幡平市田頭* 軽米町軽米*				
2020年03月29日20時05分	青森県東方沖	40° 38.3' N	141° 30.5' E	89km	M3.5
岩手県	震度 1 : 軽米町軽米*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は岩手県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

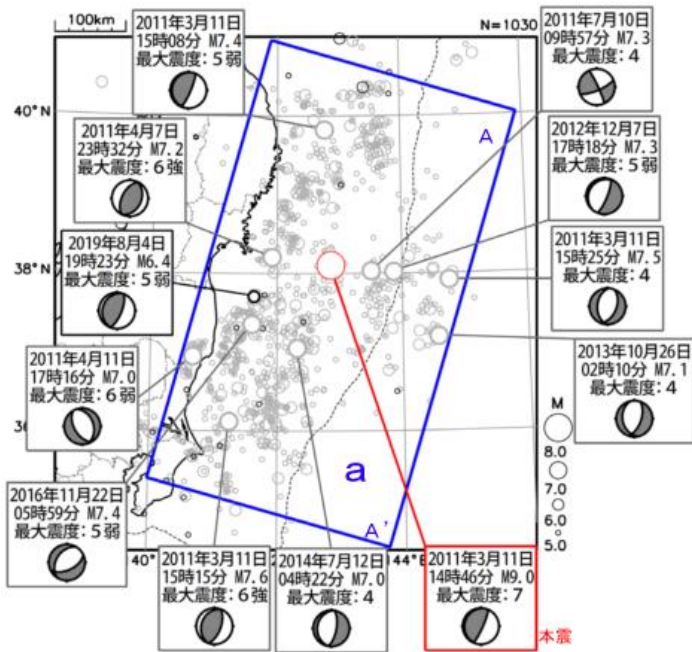
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」について ～ 9 年間の地震活動～

（余震活動の状況）

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の余震活動は、本震発生の当日に M7.0 以上の地震が 3 回発生するなど、本震発生直後から極めて活発な状態で推移し、余震域については岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲にわたっています。本震発生 8 年後の 2019 年 3 月 11 日 14 時 46 分から 2020 年 3 月 7 日までの約 1 年間（以下、今期間）での最大規模の地震は、2019 年 8 月 4 日に発生した福島県沖の地震（M6.4、最大震度 5 弱）で、余震域内では、2016 年 11 月 22 日の福島県沖の地震（M7.4、最大震度 5 弱）以降、M7.0 以上の地震は発生していません。

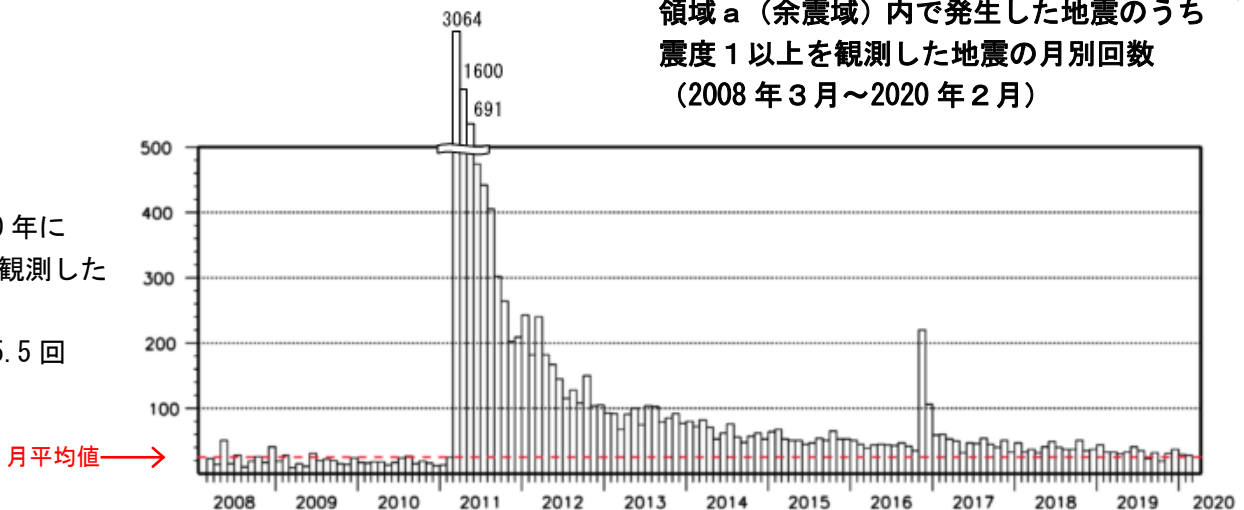
余震域内（下図の領域 a）で震度 1 以上を観測した地震は、本震発生後の 1 年間では 8,112 回でしたが、時間の経過と共に低下し、今期間では 368 回と 20 分の 1 以下にまで減少しています。しかし、東北地方太平洋沖地震発生以前である 2001 年から 2010 年に余震域内で震度 1 以上を観測した地震の年平均回数（306 回）と比べると、地震回数の多い状態が続いています。



震央分布図 (2011年3月11日14時46分～2020年2月29日24時00分、深さすべて、M≥5.0)

東北地方太平洋沖地震の発生から 8 年後（2019年3月11日14時46分）以降に発生した地震を濃く表示している。領域 a 内の M7.0 以上の地震と 8 年後以降の約 1 年間で最大規模の地震に吹き出しをつけた。発震機構は CMT 解。領域 a：東北地方太平洋沖地震の余震域

領域 a（余震域）内で発生した地震のうち震度 1 以上を観測した地震の月別回数 (2008年3月～2020年2月)



(参考)
2001 年～2010 年に
震度 1 以上を観測した
地震回数
月平均値 25.5 回

月平均値 →

詳しくは気象庁HPをご覧ください。 <https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/09a/2002offtohokueq.pdf>